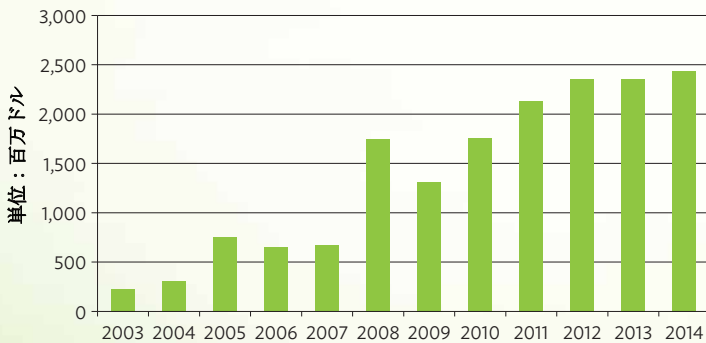




ADB クリーン・ エネルギー・ ボンド

ADBによるクリーンエネルギー投資額
(承認ベース、2003～2014年)



注：本書で「\$」あるいは「ドル」という場合には米ドルを指します。
写真の出所はすべてADB。

クリーンエネルギーに関する業務活動

2014年、アジア開発銀行（ADB）は、エネルギー効率および再生可能エネルギー関連のプロジェクトに対して年間20億ドルの投資を行うという目標を4年連続で達成しました。再生可能エネルギー、エネルギー効率およびよりクリーンな燃料への転換を含む2014年のクリーンエネルギー投資の総額は24億ドルに達しました。ADBは、長期戦略の枠組みである「ストラテジー2020」の中間レビューにおいて、クリーンエネルギーへの投資を通じてエネルギー安全保障と気候変動という2つの課題に対応することの重要性を再確認しました。

アジア・太平洋地域の開発途上国ではクリーンエネルギーに対する需要が高く、ADBは域内におけるクリーンエネルギーの開発を引き続き支援していきます。世界的に見て、クリーンエネルギー・セクターへの投資は大きな成果を上げています。世界全体のクリーンエネルギーへの投資額は3年間減少した後、2014年には回復して2,700億ドルに達し、過去最高となる95ギガワットの再生可能エネルギー発電設備が建設されました。再生可能エネルギー、特に太陽光関連の技術コストが低下するにつれて、その設備容量が飛躍的に増加しつつあります。開発途上国では、再生可能エネルギーは伝統的な化石燃料による発電と比べてコストが高く非実現的だと考えられていただけに、これは特に重要な意味を持ちます。

ADBのクリーンエネルギー投資総額24億ドルのうち、16億7,000万ドル（69%）はソブリン向けの融資およびグラントからなる公共セクターへの投資、残る7億6,000万ドル（31%）は民間セクターへの投資でした。なお、民間セクターへの投資額は2013年から1億ドル近く増加しました。ADBは今後も、域内におけるクリーンエネルギーの開発と展開を支援するため、援助手法の革新を続けていきます。

ADBは2010年以降、8億2,000万ドルを超えるクリーン・エネルギー・ボンドを発行しています。

クリーンエネルギー・プロジェクトの事例

ADBのクリーンエネ
ルギー・プログラム

2014年のクリーンエネ
ルギー投資額=24億ドル

CO₂e = 二酸化炭素への換算量

GWh = ギガワット時、MW = メガワット、TJ = テラジュール。

出所：ADBデータベース。

再生可能電力の発電量：5,933GWh/年

電力消費の削減量：700GWh/年

直接燃料消費の削減量：40,347TJ/年

新たな再生可能発電能力：2,059MW

CO₂換算排出削減量：900万トン/年

中国：内モンゴル自治区フフホト市低炭素型地域暖房プロジェクト

セクター分類：エネルギー

事業期間：2015～2020年

ADB融資パッケージ総額：1億5,000万ドル

事業概要

中国内モンゴル自治区の首都であるフフホト市では、暖房の燃料として主に石炭が利用されています。内モンゴル自治区では1年の約半分で気温が氷点下となるため、適切な暖房は人間の基本的ニーズであり社会経済活動に不可欠ですが、一方で屋内外の空気汚染の原因となり、健康に影響を与えています。本事業では、住民の呼吸器系疾患を軽減するため、低排出の天然ガス・ボイラーと排出ゼロの風力ベースのボイラーを組み合わせたハイブリッド型の地域暖房システムを設計すると共に、再生可能エネルギー向けの補助金を利用した風力ベースの地域暖房という新たなビジネスモデルを構築します。

本事業が完成すれば、既存の暖房システムと比べて二酸化炭素の排出量は60%、亜酸化窒素の排出量は82%、二酸化硫黄の排出量は98%削減され、粒子状物質の排出量は無視できるレベルになる見込みです。約29万4,500世帯（市の人口の30%）に加えて、18の学校、35の幼稚園、そして12の病院が本事業から直接的な利益を受けることになります。



ウズベキスタン：タキアタッシュ発電所効率改善プロジェクト

セクター分類：エネルギー

事業期間：2014～2021年

融資パッケージ総額：3億ドル

事業概要

タキアタッシュ火力発電所は、ウズベキスタン西部のカラカルパクスタン自治共和国およびホラズム州（人口300万人）の主な電力供給源となっています。安定した電力供給を行うため、政府とウズベクエネルギー社（国有電力公社）は、(i) コンバインドサイクル・ガスタービン発電機（各230～280MW）を2機建設し、(ii) 既存の発電機3機（1号機～3号機）を廃止し、(iii) 2機（7号機と8号機）をバックアップとして維持することを決定しました。このアプローチ、すなわちエネルギー効率の高い発電機を建設すると同時に効率の悪い旧式の発電機を廃止するというアプローチは、同国で導入される初めての総合的な近代化モデルであり、設備の老朽化という深刻な問題を抱える電力セクターに改革の道を開くものと期待されます。

本事業では、ウズベクエネルギー社が商業的に採算の取れる企業になれるよう、同社の能力開発も行います。さらに、コミュニティ社会サービスセンターの建設によって、雇用の創出と共に、地域社会の福祉の向上およびジェンダーの平等の促進を目指します。



アジア開発銀行について

ADBは、貧困のないアジア・太平洋地域の実現を目指しています。ADBは開発途上加盟国による貧困の削減と、国民生活の質の改善を支援することを使命としています。経済発展のサクセス・ストーリーにもかかわらず、アジア・太平洋地域には世界の貧困層の大半が暮らしているとされています。ADBは全ての人々に恩恵が行き渡る（インクルーシブな）経済成長、環境に調和した持続可能な成長、および地域統合の促進を通じて途上加盟国の貧困削減を支援しています。

ADBはマニラに本部を置き、67の加盟国・地域によって構成され、うち48カ国はアジア・太平洋地域の国と地域です。開発途上加盟国支援のためにADBが行う支援の具体的手段は、政策対話、融資、出資、保証、無償援助、技術協力などです。



Creative Commons Attribution 3.0 IGO license (CC BY 3.0 IGO)

© 2015 ADB. The CC license does not apply to non-ADB copyright materials in this publication.

Publication Stock No. ARM157792-3